

日程	研究科	区分	試験科目
A日程	不動産学研究科	一般社会人 外国人留学生	《選択問題》 建築都市に関する問題

以下の問題にすべて答えなさい。

問題1

近年、建築物の大規模化や建築素材の多様化などから、以前にはなかったような火災が起きている。例えば、2017年6月には、イギリス、ロンドンの郊外の高層住宅で火災が発生し、70人以上が死亡している。被害が大きくなった原因として、外壁の断熱材の延焼、避難階段の不足、スプリンクラーがなかったことなどが指摘されている。また、日本では2017年2月に埼玉県物流倉庫で火災が発生し、4万5千平方メートルが焼失、鎮火に13日を要した。防火シャッターの動作不良、窓の少なさによる消火活動の困難さなどが、火災の拡大、長期化の原因として指摘されている。

このように、建築物の不適切な構造、計画、設備、維持管理から火災の被害は拡大する。このことに留意して、建築物における火災の対策をどのようにとるべきか、要点を述べなさい。

問題2

遠くない将来、人工知能(AI)の進歩によって、仕事するのは1割くらいの労働者だけで、多くの人々は仕事がなく国などから最低限の生活を送るために必要とされる基本的な所得(Basic Income)をもらって生活する社会になるのではないかとマスコミなどでよく言われている。

もし上記のような社会になった場合、都市構造やインフラの整備、不動産価格の分布などの変化とその理由について現在のものと比較しながら述べなさい。